

# 今、改めて見直したい「期待される人間像」

子供の教育の中でも、精神面の指針が最も必要とされる青少年期の教育は極めて重要です。その指針の一つとして、昭和41年に中央教育審議会が打ち出した「期待される人間像」というものがあります。青少年が、いかにその能力を向上させ人間性を育んでいくべきかをまとめたものです。

現在まで、様々な教育改革の指針や理念が打ち出されましたが、この内容が、それらの改革の底流となっていると教育専門家から指摘されるものであります。

「期待される人間像」は、「個人」として、まず自由であることを掲げ、「自由であり、自発的である」ということは、勝手気ままにふるまうことでもなく、本能や衝動のままに動くことでもない」とし「自由は、みずから自分自身を律することができるところにあり、本能や衝動を純化し向上させることができる」と述べ、自己抑制教育の重要性に触れています。

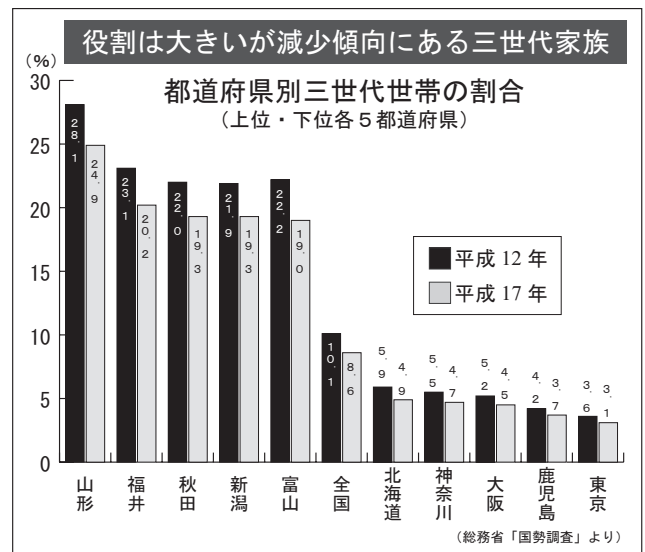
また「家庭人」としては、「家庭は愛の場である。夫婦の愛、親子の愛、兄弟姉妹の愛、すべては愛の特定の現れにほかならない」と、家庭の意義を実現

するよう訴えると共に、家庭を「いこいの場」とし、「教育の場」とするよう説き、親は子育てすることで自分を成長させるのである、と述べています。

そのほか、社会人として「仕事に打ち込み」、国民として「正しい愛国心をもつ」よう指摘しています。

今でも、指針として十分通用する内容です。中でも、家庭の果たす役割は大きく、三世代家庭が子育ての上でも有益です。核家族よりも子供の出生率が高いことが分かっています。

家庭が子供にも親にも自分を成長させ、かつ心地よい場所となるよう、個人も、社会、国家も役割を果たすようにしていきたいものです。



私たちは、結婚前は純潔を守り、  
結婚後は貞節を守る  
「Pure Love」運動を提唱しています。

「純潔」は、愛する人への最高のプレゼント

「貞節」は、夫婦の愛と信頼の絆



Pure Love Alliance – Japan

<http://www.plajapan.org/>

PLA-Japan 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-13-2 成約ビル4F  
FAX : 050-3488-2386 Email : info@plajapan.org

PureLoveAlliance-Japan 2011.7